

表紙の写真から

中学生防火防災弁論大会

最優秀賞に輝いた西宮さん。



11月9日、中学生の防火防災意識の高揚を目的に「令和3年度中学生防火防災弁論大会」が仙北市民会館で開催され、西明寺中学校3年の西宮百穂さんが最優秀賞に輝きました。

秋田県消防協会大仙仙北美郷支部の管内市町を持ち回りで開催している同大会、仙北市での開催は5年ぶりとなり、市内各中学校から生徒1人ずつ、計5人が出場しました。

5人の生徒は、それぞれ実際に起きた出来事や体験をもとに防火防災に対するそれぞれの思いを力強く発表しました。

市内中学生が防火防災の弁論競う

『「父母の背中」と題して発表した西宮さんは、消防団に入り地域のために活動する父母の姿から感じたこと、実際に災害現場に足を運ぶ母の言葉から学んだことなどを中心に弁論を展開。最後に「今、私たちはこうしてにこやかに過ごしていますが、今日と同じ明日がやってくるとは限りません。防災意識を高め、つながれてきたかけがえのない一人ひとりの命を、たくさんの未来を一緒に守っていきましょう。使命感に燃え、災害現場や活動に向かう父と母の背中には私に語りかけます。人としてやるべきことをやる。やれることをやる。私は背中から答えます。やれることをやる。そして、気をつけて」と結びました。

終了後、西宮さんにお話を伺うと「内容は、両親にインタビュアーなどをして先生と相談しながら考えた。少し緊張はしたけど、最優秀賞になり素直に嬉しい」と感想を述べました。

審査結果（敬称略）

- ▼最優秀賞 西宮百穂（西明寺中3年）
- ▼優秀賞 佐藤一帆（神代中3年） 浅利麻帆（桧木内中1年）
- ▼努力賞 大澤遥佑（角館中3年） 田口野愛（生保内中2年）



左から佐藤さん、浅利さん、西宮さん、大澤さん、田口さん。

※表紙の写真
中央から時計回りに西宮さん、佐藤さん、大澤さん、田口さん、浅利さん。

高齢者叙勲

このほど、高齢者叙勲受章者が発表され、元西木村議会議員の上杉景次郎さんが、地方自治功労で旭日単光章を受章されました。心からお祝い申し上げます。

（※年齢は受章時を掲載）

旭日単光章（地方自治功労）



上杉景次郎さん
(88歳 西木町上松木内)

元西木村議会議員。平成元年9月に西木村議会議員に初当選以来、平成13年9月までの3期12年の長きにわたり務められました。この間、総務常任委員会委員長や経済建設常任委員会委員長などを歴任、地方自治発展のために尽力されました。

来春オープンへ

砂防ダムでボルダリング



子どもたちは器用に体を動かしてボルダリングを楽しんでいました。



砂防堰堤上部からの様子。完成に向けて工事が進められています。

現在、たざわ湖スキー場の水沢リフト脇で整備が進められている砂防ダム「水沢第2砂防堰堤」。水沢第2砂防堰堤は秋田駒ヶ岳の噴火に備え、火山灰などの土石流被害を軽減する目的で整備が進められています。県内多数のリゾート地たざわ湖スキー場に隣接するため、地域振興を目的としたインフラ活用の中でも国内では初めてとなる砂防施設を活用したボルダリング設備を国と仙北市とで整備しました。

11月7日には水沢砂防堰堤インフラ活用（ボルダリング）体験見学会が行われ、親子連れなどおよそ80人が参加しました。

堤体の壁面に取り付けられたホールドと呼ばれる突起物をつかんだり足場にしたりして、水平方向に移動してゴールを目指すコースとなっており、参加した方々は初級、中級、上級のそれぞれのコースに挑戦しました。

上級に挑戦していた方にお話を伺うと「つかみにくい形をしていて難しかった。周りからの声援が温かく、楽しくボルダリングをすることができた」と話しました。

その後、水沢第2・3砂防堰堤周辺見学（工事現場内）が行われ、水沢第2・3砂防堰堤の

完成イメージや現在の進捗状況を各現場を訪れながら説明をしました。

国土交通省湯沢河川国道事務所秋田駒ヶ岳山系砂防出張所長の佐藤玲子さんは「大きい構造物があるというだけでなく、ボルダリング施設というものを通じて身近に感じてほしい。そして災害が多発している中でぜひ防災意識をもってもらえるきっかけになれば」と話しました。

子どもから大人まで無料で楽しめる施設として、周辺設備が完了する来春に本格的にオープンする予定です。

きれいな花を咲かせますように

オオヤマザクラを植樹

11月3日、花葉館に隣接する市有地の旧角館スキー場跡地で桜の苗木の植栽が行われました。

この事業は、ふるさとのシンボリックな森林再生を目的に（株）花葉館・植栽グループが主催し、（公社）秋田県緑化推進委員会の支援と地域住民や団体の協力により実施されました。平成21年から毎年同日に行われ、今年で13回目を数える恒例イベントとなっています。

開会式では同グループの高橋義男会長が「スキー場跡地は緑が多くなり、にぎやかになった。花葉館では散策コースとして、泊まったお客さんに見ていただくようにしている。非常に評判がよく、口伝いで広まってくれば大変ありがたい」とあいさつしました。

当日は約50人が参加し、オオヤマザクラ10本を植樹。穴掘りに苦戦す

る子どもたちの元気な声が響き渡る中、参加者は1時間ほどかけて丁寧に植えていきました。また、先に植えられた木々にも肥料をあてていきます。

お孫さんを連れて参加していたご夫婦は3年前に金婚の記念で参加して以来、今年で3回目とのこと。「きれいに花を咲かせるようにと健康を願って植えた。おじいちゃん、おばあちゃんが植えたのを孫が見にくれるのも楽しみ」と話しました。



植樹のために一生懸命穴を掘る子どもたち。

誇れる観光地づくりを目指して

「DMO登録証」交付式



田中局長（左）から安藤会長（右）に登録証が手渡されました。

を誇る「稼げる」観光地づくりを目指してきました。

この度、11月4日付けで「登録DMO」が新たに追加登録され、（一社）田沢湖・角館観光協会が登録DMO（地域DMO登録）となりました。

11月15日には角館駅前蔵でDMO登録証の交付式が行われ、国土交通省東北地方運輸局の田中田中局長から、（一社）田沢湖・角館観光協会の安藤大輔会長にDMO登録証が手渡されました。

田中局長は「仙北市は魅力が多く、DMOは地域の核として観光地をけん引していくと期待を寄せました。また今回の登録をうけて安藤会長は「田沢湖、角館には新幹線が停車する。相手のニーズを把握しやすいのでそれを生かして観光と経済の活性化につなげていきたい」と話しました。

観光庁により、観光地づくりの舵取り役を担う観光地づくり法人（DMO）の形成・確立を促進するため、「登録DMO」およびその候補となりうる法人「候補DMO」を登録する制度があります。

仙北市では、平成31年3月29日に「候補DMO」（登録時の名称はDMO候補法人）に登録された（一社）田沢湖・角館観光協会が、仙北市や関係団体と連携し、地域資源を最大限に活用した効果的かつ効率的な集客

善意ありがとうございます

安心して学校生活を送るために

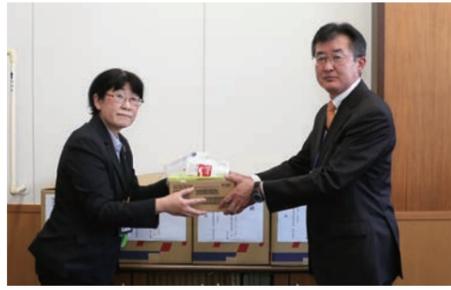
郵便局長会 仙北北部会が寄贈

11月2日、郵便局長会仙北北部会（石川博之部会長）より、ノータッチディスプレイ（非接触型自動手指除菌消毒器）および消毒液一式を寄贈いただきました。

令和2年3月に日本郵便株式会社と包括連携に関する協定を締結したことをきっかけに同部会でもなにかできることはないかと思ひ、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として児童生徒たちが安心して学校生活を送ることができるようにと今回の寄贈に至りました。

寄贈にあたって同部会の石川部会長は「児童生徒の皆さんが少しでも安心して学校生活を送れるように役立ててほしい」と話しました。

寄贈された一式は市内の小・中学校に配布されました。



松木内郵便局の佐藤智恵美局長（左）から仙北市長会長の三浦政喜会長（右）に手渡されました。

栄光・表彰 ～輝くとき

秋田県食生活改善推進協議会会長表彰

仙北市食生活改善推進協議会が受賞

10月25日、秋田県市町村会館で行われた秋田県食生活改善推進協議会表彰式で、仙北市食生活改善推進協議会が、日々食を通じた健康づくりへの取り組みが高く評価され、秋田県食生活改善推進協議会会長より会長表彰を受賞しました。



仙北市食生活改善推進協議会の皆さん。

長年の統計調査における功績が認められ、仙北市から荒川倫子さん（角館町岩瀬下夕野）が令和3年度経済産業省所管統計調査功績者として経済産業大臣表彰、佐藤久洋さん（西木町西荒井）が令和2年度国勢調査指導員として総務大臣表彰、阿部幸子さん（西木町小淵野）、熊谷悦子さん（田沢湖生保内）が各種統計調査員として秋田県知事表彰を受賞されました。



秋田県知事表彰を受賞した阿部幸子さん。



総務大臣表彰を受賞した佐藤久洋さん。



経済産業大臣表彰を受賞した荒川倫子さん。

長年の統計調査に功績

令和3年度秋田県統計功労者表彰



拍子木を使って「火の用心！」と声をかけて行進しました。

秋の火災予防運動

火の用心！

園児たちが市内をパレード

11月8日、秋の火災予防週間行事の一環で、だしのこ園の園児31人が生保内字男坂地内の「男坂通り」を行進（防火パレード）しました。

防火パレードは、地域住民への火災予防思想の啓発と一層の火災予防を図ることを目的に、空気が乾燥し火災が発生しやすい同週間にあわせて毎年行っています。

園児たちは、火災と災害が起きないように地域住民に大きな声で「火の用心」と叫びながら元気に行進。行進後は、地域のスーパー駐車場で住宅用火災警報器の普及を図るため訪れた方にチラシを配布しました。

家族一体となって火災予防！

消防署職員が呼びかけ



火の元には十分注意しましょう。

11月7日から13日までの1週間にかけて「秋の火災予防運動」が行われました。角館消防署では小さい子どものうちから防災について興味をもってほしいという願いから今回初の試みとして、10日に市内小学校6校において火災予防を呼びかけるあいさつ運動が実施されました。

この日、生保内小学校では児童が登校する時間にあわせてあいさつ運動を行った消防署職員。火災予防を呼びかけるのぼり旗を掲げながら「おはようございます」とあいさつをする姿が見られました。また、消防署から市内小学校に「消防士とみんなのお約束」というチラシを配布し、子どもから保護者の方にも見てもらうようお願いをしました。

これから本格的に冬に入り、ストーブやカセットガス、灯油などの扱いに細心の注意が必要です。今一度火の取扱いについてご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。